

講義名	財政学			
担当教員	三原 裕子			
開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2時限		授業形態	講義
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考
主題と概要				
税金は、我々が日常生活を送る上で非常に密接なものです。しかし、税金は出来れば払いたくなく、その負担を重く感じる事があります。一方で、税金のおかげで我々は様々な公共財やサービスを受受でき、我々の生活を便利なものにしてきています。本講義では、国の活動のうち支出に着目し、それが抱える課題や解決策などについて理解することを目的とします。				

教科書				
.使用しない。				
プリント資料及び参考文献				
レジュメ等はRyuka Portaぬ講義連絡Iを用いて配信しますので、各自ダウンロードなどして準備をして下さい。 主な参考文献 ・小堀達士『コア・テキスト 財政学』新世社、2002 ・仙巖鋭矢・林正義・吉田浩『財政学をつかむ』有斐閣、2008 ・加藤久和『人口経済学』日経文庫(1160)、2007 その他参考文献については授業中に適宜紹介します。				
授業計画				
1.財政とは何か 2.資源配分機能 3.所得再分配機能 4.経済安定化機能 5.マクロ財政政策 6.公共財(1) 公共財の定義 7.公共財(2) リンダール均衡 8.我々の生活と社会保障制度 9.日本の育児支援制度 10.待機児童問題を経済学の観点から考察する(1) 11.待機児童問題を経済学の観点から考察する(2) 12.日本の年金制度とその問題点 13.事前積立方式(1) 14.事前積立方式(2) 15.まとめ				
授業形態（アクティブ・ラーニング）				
	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
	キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			
準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間				
・各回の授業内容について、資料をまとめるなど復習を90分程度で行ってください（特に重要な箇所は授業中に指示します）。 ・次回の授業内容についての予習を配布資料を用いて60分程度で行ってください。 ・授業中に課された課題等について90分程度で行ってください。				
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
【経済学部】 経済学と財政学の基礎的な知識の習得（目標(1)、(2)）により、人間、社会、自然に関する学問的成果の基礎を身につけることができる。これを通じて、現代社会の諸問題を捉え、課題の解決の提案（目標(3)、(4)）が出来るようになり、共通DPに貢献できる。 【商学部】 社会と財政との関りを理解すること（目標（2）、（3）、（4））により、各業界が経済、財政とどのように変わっているかを理解することが出来る。これを通じて各業界の動向や問題点を発見することにつながり、共通DPに貢献できる。 【人間社会学部】 社会と財政学の基礎的な知識の習得（目標(2)）により、人間、社会、自然に関する学問的成果の基礎を身につけることができる。これを通じて、社会の仕組みや働き、人間心理などを理解することにより共通DPに貢献できる。				
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述				
アンケート、小テスト、課題などの回収をクリックカー（Respon）にて行います。				
実務経験の有無及び活用				
備考				
【対面授業を履修する場合】 *新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生については、オンデマンドへの移動はせず、その期間のみ課題学修などによって対応します。				